



各 位

会社名 秩父鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 大谷 隆 男
(JASDAQ・コード 9012)
問合せ先 総務部長 森田 宏 昭
(TEL 048 - 523 - 3311)

平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想値と実績値の差異
並びに特別利益及び特別損失に関するお知らせ

平成 29 年 3 月 8 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)通期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異並びに特別利益及び特別損失の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,600	百万円 160	百万円 150	百万円 448	円銭 14.12
実績値 (B)	5,303	249	228	486	32.71
増減額 (B-A)	△297	89	78	38	
増減率 (%)	△5.3	55.6	52.0	8.5	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,479	148	139	131	8.83

(差異が生じた理由)

営業収益は、鉄道事業及び観光事業が予想に比べ減収になったものの、電力料金の値下がりに加え、グループ全社で費用の削減に努め、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回ることとなりました。

2. 特別利益及び特別損失の計上の内容

特別利益として、安全対策工事などに係る国及び地方自治体等からの補助金受入額 124 百万円を計上いたしました。また、地方自治体等による踏切道拡幅工事などによる工事負担金等受入額を 228 百万円計上いたしました。

特別損失については、補助金対象工事及び工事負担金等により取得した資産の取得原価から、当該補助金及び工事負担金等相当額を直接減額した金額 412 百万円を固定資産圧縮損として計上いたしました。また、賃貸施設の一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に関する回収可能性を検討した結果、減損損失として 66 百万円を計上いたしました。

以 上